

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル横浜港南Ⅲ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 1月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 1月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々取り組んでいる活動や、イベントの充実さ。	日々の活動では、子ども達に合わせた取り組みを、職員一人ひとりが意見を出し合い、工夫しながら実施することが出来ています。またイベントにも力を入れており、期間限定のイベントやお買い体験など、子ども達が存分に楽しめるものを考えています。	これからも活動やイベントを充実させるため、情報収集していくとともに、社員だけでなく、他職員(アルバイトスタッフ)とも情報交換していくことで、みんなでフリースマイルを作っていく、みんなで子ども達を見る姿勢を強化していきます。
2	子ども達が通所に対して安心感や楽しみに来てくれていること。	普段の子ども達の様子から楽しめそうなイベントを立案、実行したり、活動も週によって色んな取り組みを行っています。また、子ども達の様子の変化を保護者から聞き取りしたり、あまり利用のない方にはこちらから連絡していったりと、子ども達や保護者の『声』を聞くようにしています。	今以上に、フリースマイルを好きになってもらえるように、職員各々が聞く力を伸ばしていき、一人ひとりがスキルアップしていくことで、子ども達や保護者の方の『声』を拾っていけるようにしていきます。
3	フリースマイルの広さを有効活用していること。	みんなが安全に遊べるように、部屋を区切ることで静と動の遊びを満喫しています。また、みんなが仲良く遊べるように子ども達と相談しながらルールを作ったり、1人でも誰かが楽しめない時はみんなで話し合う機会を設けて、みんなで一緒に楽しい時間を過ごせるように工夫しています。一人で静かに遊びたい子どもにも対応できるように2階を使ったりと、施設の広さを有効活用しています。	引き続き、子ども達としっかりやりとりしていきながら、みんなで楽しめる遊びを広げていけるようお手伝いしたり、1人で黙々と遊べるよう場所を提供していきながら、各々が遊びを満喫できるように工夫していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	面談や支援計画を通して、保護者の方々のコミュニケーションを図り、情報交換や連携、信頼をより深めていくこと。	管理者が変わり、今まで滞っていた支援計画作成を進めるにあたり、再度計画から練り直し、職員間と共有して確認しながら進めています。今まで計画的に出来ていなかった面談も徐々にですが取り組んでいます。	今後、計画的に支援計画や面談を進めていき、内容に関しても職員間でしっかりと把握していけるよう努めていきます。また、保護者と面談をして、困りごとやお家での様子などを聞き取りした際には、その内容も共有し、支援に活かしていきます。
2	職員同士(社員とアルバイト)の連携が不十分なこと。	子どものことなど、様々な共有事項について社員とアルバイト間で共有出来ていることに偏りが見られており、日々子ども達を見る中で、情報共有の時間や伝える職員がいないなどミーティングの時間を取るのが難しい背景も要因として考えられる。	職員間でのコミュニケーションを図っていき、何でも話せる風通しのいい環境づくりをしていく。また、口頭で伝えられないことは、共有のツールを使って記録として残していき、いつでも見返しが出来、支援に活かせるようにしていきます。
3	職員一人ひとりのスキルアップの強化や、日々の業務の効率化。	日々のやることに各々が追われてしまい、分からないことの確認が疎かになっていることが要因として考えられる。また、職員間でのコミュニケーション不足が考えられる。	色んな研修に参加していくことで、知識を身に付けていく。また、それを職員間で広めていくことで職員全体のスキルアップにも繋げていけるようにしていく。日々の業務の効率化も図っていけるよう、アルバイトスタッフとも協力して業務に当たっていけるよう環境を構築していく。